

江戸が東京になって、日露戦争、関東大震災、
そして平成の終わりまで……すべてを見てきた男。

人類最年長 島田雅彦・著

この男、百五十九歳。誰も信じられない秘密がある！

一八六一年三月十三日、横浜で生まれた……とても成長の遅い子どもで、三歳になるまでまともに歩けず、コトバも話せなかった……多少の記憶違いはあっても、全て実話だ……五千円札の女とも懇意になったし、ちゃんと結婚もしたんだ……ヘシェン長老から呪いをかけられなければ、関東大震災の時、あるいは東京大空襲の時に死ねただろうに……生活に余裕が出て来たのは大正、昭和になってからだが、エロ・グロ・ナンセンスの時代もまあまあ楽しかったな……アメリカのいいなりになる奴ばかりがのさばっている……あなたのおっぱいを触らせてもらえないだろうか？……ソファに座って、うとうとしていると、夢見るようにタイムスリップが始まる……。

文壇の鬼才が、平成の終わりに世に問うのは、
空前絶後のクロニクル小説！

明治以来の日本の近代化を、ひとりで生き抜いて、

「ノーホエア・マン」と呼ばれた男は、

誰も信じられない秘密を、語ろうとしている。

三十歳の女性看護師に、何を託すのか。

百五十九年にも及ぶ人生の、最後の望みとは？

圧倒的なイマジネーションと構築力による、衝撃の

書。



(文藝春秋刊 1850円＋税)

島田雅彦 (しまだ・まさひこ) プロフィール

一九六一年、東京生まれ。東京外国語大学ロシア語学科卒。在学中の一九八三年に「優しいサヨクのための嬉遊曲」を発表。一九八四年、『夢遊王国のための音楽』で野間文芸新人賞。一九九二年、『彼岸先生』で泉鏡花文学賞。二〇〇六年、『退廃姉妹』で伊藤整文学賞。二〇〇八年、『カオスの娘』で芸術選奨文部科学大臣賞。二〇一六年、『虚人の星』で毎日出版文化賞。法政大学国際文化学部教授。

インタビュー、書評などのお問い合わせ

文藝春秋「プロモーション部」

TEL 03-3288-6142 pr@bunshun.co.jp

